

# 香蘭ファッションデザイン専門学校 令和4年度 自己点検・評価表

一般社団法人 全国専門学校教育研究会  
「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」  
(3) 職業実践専門課程等の充実に向けた取組の推進  
① 社会的評価の一層の向上のための共通基盤整備の推進  
「職業実践専門課程の充実に向けた自己点検・評価システムの検証と  
質保証・向上のための取組:22年度版」を実践

実施日: 令和 5年 10月 1日

学校名: 学校法人山内学園  
香蘭ファッションデザイン専門学校

## 1. 学校の教育目標(教育理念)

香蘭ファッションデザイン専門学校が掲げる教育理念「人間教育と技術教育」。  
それを「人間教育＝社会人基礎力」、「技術教育＝実務技術経験と技術習得」とします。

香蘭ファッションデザイン専門学校は、山内学園の3つの柱の一つです。  
専門学校は、職業教育を行う高等教育機関、「専修学校専門課程」であり、その教育は、専門業界に直結した「技能教育」の習得です。「技能習得」は当然のことながら、香蘭ファッションデザイン専門学校が最も重要視している事が、「人間教育」です。  
どんなに優れた技術があれども働くのは人間であり、その人間性が豊ではないと仕事に、また、人間関係に支障が来すからです。  
これから先、どんなに時代が変わろうとも、先人が建てられた「人間教育と技術教育」の理念は崩しませんので、全職員、学生に手本を示すような行動と言動を心がけていきます。  
男女共学の服飾専門課程である専門学校ですので、学園の建学の精神を根幹としながら、ファッション業界の知識、そして高度な技術に特化した専門分野の業界人の育成を掲げ、「いかなる困難な場にあっても、創意・工夫を大切にし、人を愛し人から愛される自立した人材の育成」すなわち、「人間教育と技術教育」であるとします。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画(教育の特色)

### ◆全体目標

香蘭ファッションデザイン専門学校の教育の価値向上を前提とし、同時に、ファッション教育と学校の運営全体を見直し、新たな基準を構築する年にします。

### ◆学校運営の方針

『和を持って尊しとなす』

「私たち職員は学園の理念を最も理解し、同じ目標を目指すファミリーです。」

香蘭ファッションデザイン専門学校の教育の価値向上を前提とし、ファッション教育を持続し業界に貢献できるように、全職員で教育の質向上を目指すように協力し合い、ファッション教育と学校の運営全体を見直し、新たな基準を整備する年にします。  
同時に定員確保を至上命題と認識し、募集活動や広報活動に貢献します。

### ◆23年度教育全体の方針

「主役は“学生”、教育の喜びは“学生の成長と発展”学生の言葉に耳を傾ける」

私たち職員は「ファッション教育に携わる業界のプロフェッショナルである職員は、全国の数ある競合校の中から、夢を持ち本校に集まってきた学生に対しての教育の姿勢として、『学生の成長は、私たちの喜び、学生の成果は、私たちの誇り、各自が持つ夢を実現できるように、志に変換できる『手助けを』するという意識を常に持ち指導にあたります。』

それには、全職員、本校の「教育理念」を基に、これまでの実績や経験にとどまらず、新しい時代を受け入れ、創意工夫しながら『生きる知恵』と、『技術的能力』を教示し、同時に『人間力』を引き出し、最終的に『自立』出来る教育を実施します。  
教育者である私達が常に自覚せねばならない事は、「方法論も過去に囚われすぎて、合理性を追求する上に、思考が形骸化される事」だと思っています。

つまり、現場に長くいると、「これまではこのやり方だったから」、「昨年はこうだったから」、「自分で判断より周りに合わせよう」という守りの姿勢になりがちで、常に変化する現状に気づかず、気付けば専門人材の教育から逸脱し、通常の教育のみ(これまで通り)になっていることに気付くことです。恐ることなく、これまでの教授方法や資料も新たに見直し、今の時代にあった内容に特化する努力をします。

【◆特色ある教育】【◆常に学生と向きあった人材育成】【◆これから先、取り組むべき人材教育】【◆知名度の高さを維持】【◆検定合格率・各種コンテスト入賞歴・著名人の講義】【◆人材力と団結力】

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標			エビデンス				
1	1	中項目 理念・目的・育成人材像(教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか)					
1	1	1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1	寄附行為又は定款、学則その他教育上の目的を定めた規程。事業計画書。パンフレット。学生要覧。HP
1	1	2 学生・保証人(保護者)に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	④	3	2	1	学校・学科(理念・目的)を紹介するパンフレット。学生要覧。HP
1	1	3 教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	④	3	2	1	事業計画書。パンフレット。学生要覧。HP
1	1	4 学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	④	3	2	1	事業計画書。パンフレット(募集要項)。学生要覧。HP
1	2	中項目 教育の特色(社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか)					
1	2	1 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか(コース修了後に、学習者がそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか)	④	3	2	1	事業計画書。パンフレット。学生要覧。HP。教育課程編成委員会議事録。
1	2	2 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか(学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか)	④	3	2	1	定期的な研修会の実施。各科、教員の研修会の実施。及び、研修報告書。職員の年間目標。教育課程編成委員会議事録。学校関係者評価委員会議事録。
1	2	3 学校における職業教育の特色は明確になっているか	④	3	2	1	事業計画書。パンフレット。学生要覧。HP。カリキュラム表。シラバス。
1	2	4 各修業期間における教育目的・目標・教育計画が文書化され、提示されているか	④	3	2	1	事業計画書。パンフレット。学生要覧。HP。カリキュラム表。シラバス。年間行事予定表
1	2	5 中期的(3~5年程度)な視点で、学校の将来構想を描いているか	4	3	②	1	事業計画書。

①	課題	<p>学校の根幹を支える教育理念は職員、学生にも周知されており十分達成できている。また、職業実践専門課程が始まった当初から、本校の特色は定期的に見直しされており、強みをより打ち出し、弱みを浮き彫りにして改善しているため、その効果は出ている。</p> <p>中期計画を立てられない根拠として、近年の社会動向(業界の流動)が早いため、社会の変化にどのように対応し、予測していくかの情報を入手し、早期に手立てを構築していくのが最大の課題である。</p>
②	今後の改善方策	<p>教育理念は今後も揺らぐことはないが、現在の若者に合わせた伝え方、指導方法は変えていかねばならないと感じている。全職員の意識を向上させるため、業界の動向を知る手立てとして、学外の生の声を聞く必要があるため、より多くの企業との接点を増やし、業界主催の研究会や、展示会などの参加し、業界の動向を注意深く洞察できる学内の仕組みづくり(時間の余裕を作る)システムづくりの構築。その結果、全職員が学んできた社会的ニーズをそれぞれの視点を持ち寄り、早期に教育方法と照らし合わせていくシステムづくりと、中長期に進捗を見られるロードマップも構築していく。</p>
③	特記事項	<p>教員学外研修の充実。</p>

2 学校運営			適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	エビデンス			
2	1	中項目 運営方針(運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか)					
2	1	1 教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1	事業計画書。運営方針発表会議事録、周知した場合の会当該の議録、行事の記録。パンフレット。学生要覧。HP。カリキュラム表。シラバス。
2	1	2 運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を確認しているか	④	3	2	1	事業計画書。運営方針発表会議事録、周知した場合の会当該の議録、行事の記録。パンフレット。学生要覧。HP。カリキュラム表。シラバス。
2	2	中項目 事業計画(事業計画を作成し、執行しているか)					
2	2	1 運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	④	3	2	1	事業計画書。運営方針発表会議事録、周知した場合の会当該の議録、行事の記録。
2	2	2 学校の年間スケジュールはあるか	④	3	2	1	年間スケジュール(半期、3ヶ月カレンダー)
2	2	3 事業計画を作成し、それに伴う予算も組んでいるか	④	3	2	1	事業計画書。次年度予算申請書(教育に必要な施設・設備、機器・備品の整備、維持・管理に関する資料)
2	2	4 事業計画の執行状況を確認しているか、または確認する体制があるか	④	3	2	1	事業計画書。年間スケジュール(半期、3ヶ月カレンダー)次年度予算申請書(法人および学校の組織機構図、業務分掌表)
2	3	中項目 運営組織(運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか)					
2	3	1 寄附行為、理事会会議規則等(法人)、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会(法人)、学校の運営会議等が開催されているか	④	3	2	1	理事会(評議委員会)の実施。及び、議事録の開示。理事会会議規則、学校の運営規程等、理事会・評議員会の議事録、法人の理事・評議員会名簿。
2	3	2 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1	理事会(評議委員会)の実施。及び、議事録の開示。組織規程、決済規程、起案書、役職者の職務権限規程、内部規程類。
2	3	3 組織機能図があるか	④	3	2	1	組織図、校務分掌表。
2	3	4 運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に行われているか	④	3	2	1	年間行事予定表、教職員会議議事録、教職員会議・教員会議等の規程(職員会議の実施。主任会議の実施後、全職員へ議事録の共有)
2	3	5 理事会・評議員会の議事録は公開されているか	④	3	2	1	理事会(評議委員会)の実施。及び、議事録の開示。
2	3	6 教職員(組織の構成員)それぞれの職務分掌が文書化されているか	④	3	2	1	事業計画書。校務分掌表、組織規程。
2	3	7 意思決定システムを整備しているか	④	3	2	1	事業計画書。会議体図、会議議事録。
2	3	8 出退勤管理簿があるか	④	3	2	1	出勤簿、勤務予定表、就業規則。
2	3	9 教職員の健康診断がされているか	④	3	2	1	教職員健康診断の案内、教職員健康診断実施記録。就業規則。
2	3	10 施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	④	3	2	1	施設設備保守・管理点検表

2	4	中項目	教職員の評価・育成(教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか)					
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1	職員名簿、職務経歴書(履歴書)実務経験者一覧、教員資格認定書。
2	4	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか、または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか	4	3	2	1	面接及び、職務経歴書(履歴書)
2	4	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1	実施体制組織図、授業評価の帳票、フィードバック記録、授業アンケート(Google Home 授業評価の実施)
2	4	4	教員の組織体制を整備しているか	4	3	2	1	事業計画書。教員組織図(職員係割図)
2	4	5	全ての教員(専任・兼任)に対して、当該学習分野又はスキル分野に関する必要なコンピテンスを有しているかを評価し、それらの評価結果を記録しているか	4	3	2	1	事業計画書。面接及び、職務経歴書(履歴書)
2	4	6	教員・講師は、経験を有し、日本国内において認知されている教授資格を持っている、又は認知されている講師養成訓練を受けているか	4	3	2	1	職員名簿、実務経験者一覧、職務経歴書(履歴書)。学科毎の研修会へ参加。全国専門学校協会新人研修実施。
2	4	7	教員・講師に対して、ニーズ分析の結果に関する情報を十分に知らせているか(学生のニーズ、求人企業のニーズ等)	4	3	2	1	事業計画書。職員会議。主任会議(全職員へ議事録の共有)
2	4	8	代講が必要な場合、適格な教員・講師が対応できるように手配し、当該教員・講師に授業の準備及び実施について指導しているか	4	3	2	1	学科の組織図。時間割。
2	4	9	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1	学校主催の研修会の実施。及び、各科での研修会実施(終了後報告書の提出)
2	4	10	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	4	3	2	1	研修計画書。学校主催の研修会の実施。及び、各科での研修会実施(終了後報告書の提出)。各教員の検定委員会への招集(兼職履)
2	4	11	教育の成果(学修結果)に基づく教員面接を実施しているか	4	3	2	1	主任会議(議事録)
2	4	12	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	4	3	2	1	研修計画書。学校主催の研修会の実施。及び、各科での研修会実施(終了後報告書の提出)
2	4	13	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、専門能力開発の計画を作成しているか(教職員研修計画の作成)	4	3	2	1	研修計画書。学校主催の研修会の実施。及び、各科での研修会実施(終了後報告書の提出)
2	4	14	教員の資質向上への取組を行っているか	4	3	2	1	事業計画書。年間個人目標/事務局含め(半期毎にP.D.C.Aでの報告書提出/)職員会議の実施。及び、主任会議(全職員へ議事録の共有)。研修計画書。学校主催の研修会の実施。及び、各科での研修会実施(終了後報告書の提出)

2	4	15	県専各連合会主催研修会等への参加を奨励・支援しているか	④	3	2	1	各科での研修会実施(終了後報告書の提出)。全国専門学校協会新人研修実施。
2	4	16	[職業実践専門課程]教員の実務卓越性及び教育指導力向上のため、研修計画を実施して組織的に実施していますか	④	3	2	1	各科での研修会実施(終了後報告書の提出)。全国専門学校協会新人研修実施。
2	4	17	校内研修(OJT)を行っているか	④	3	2	1	学校主催の研修会の実施(終了後報告書の提出)
2	4	18	企業や各種の団体等が主催する研修会等への参加を奨励・支援しているか	④	3	2	1	各科での研修会実施(終了後報告書の提出)。全国専門学校協会新人研修実施。
2	4	19	教員・講師に対して、学習指導のための教育訓練や教材の利用についての訓練を実施しているか	4	③	2	1	各科での研修会実施(終了後報告書の提出)。全国専門学校協会新人研修実施。夏期講習会への参加。
2	4	20	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	④	3	2	1	各科での研修会実施(終了後報告書の提出)。避難訓練実施。計画書。
2	4	21	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	④	3	2	1	定期的に学科でミーティングを実施。議事録。
2	4	22	事務職員の意欲・資質の向上を図るための方策を講じているか	4	③	2	1	付帯業務を細分化し、各業務輪番で全員が統括を担当することにより、意欲・資質の向上を図っている。
2	4	23	事務職員(学習サービスの提供に関わる教員・講師以外の職員)は、自らの職務をやり遂げるために必要なコンピテンス及び適格性を有しているか	4	③	2	1	主体業務をより良く遂行するために、必要な資格取得および研修受講で自己研鑽を積んでいる。
2	5	中項目	情報システム(情報システム化等による業務の効率化が図られているか)					
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか(情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか)	④	3	2	1	情報システム導入(インフォークリッパシステム)。仕様書。契約書。

①	課題	<p>学校運営は学校法人の指導のもと、適切に行われている。</p> <p>事業計画書は年度はじめに全職員へ明文化したものを提示している。事業計画書は、年間の教育・募集(財務)等全てに関連しており、全教職員熟読し、事業計画書に沿いながら適切に実施されている。運営組織は学校法人の運営に沿い適切に行われている。</p> <p>教員の評価・育成に関して、教員の資質は事業計画に明文化されているので基本的には問題はないが、学科主催の研修、個人研修に関して、学科によって温度差がある。学科独自の計画だけでなく、全学科主任を介しての教務レベルで意見を交わせる機会も作り、研修効果も考慮した研修制度を整備することが望まれる。また、本校は人事考課制度が明確になっておらず、適正な配置なのか否かは教員の経歴や、資質(スキル)で判断している事が多いので、明確な人事考課を整備する必要がある。</p> <p>また、事務局職員に関しても同様で、仕事が煩雑なため、改善に促す具体的方策が少ないので、整備すべきである。</p> <p>情報システムは、数年前に整備し、全職員で実施されているが、不慣れな点もあり定期的に相談も多い。</p>
---	----	--

②	今後の改善方策
	<p>事業計画書の進捗を、これまで半期ごとに点検していたが、今後は小刻みに点検できるシステムの整備の準備が必要。主任会議を月毎に行っていたが、会議内容が横断的であったため、会議だけではまとまりきれないことも多々あった。今後は会議内容を分散させ、内容をより細かく検討できるよう整備していく。</p> <p>指導方法の吟味、資質等は学科主任と科に所属する職員のコミュニケーションを充実させる機会を増やし、主任が指導資質と同時に、スキルを判定材料として、個人面談を通して評価を行い、校長へ報告する。事務局は事務長が面談と評価を行い、校長へ報告することにする。</p>
③	特記事項

3 教育活動			適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	エビデンス				
3	1	中項目 目標の設定(教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか)						
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針(カリキュラムポリシー)を明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	4	3	2	1	事業計画書(カリキュラムポリシー)。パンフレット。学生要覧。HP。カリキュラム表。シラバス。
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1	事業計画書。パンフレット。学生要覧。HP。カリキュラム表。シラバス。
3	1	3	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	4	3	2	1	事業計画書(ディプロマポリシー)。パンフレット。学生要覧。HP。カリキュラム表。シラバス。
3	2	中項目 教育方法・評価等(各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか)						
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1	事業計画書。パンフレット。学生要覧。HP。カリキュラム表。シラバス。
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	4	3	2	1	カリキュラム表。シラバス。
3	2	3	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	4	3	2	1	カリキュラム表。シラバス。
3	2	4	シラバスあるいは講義要項(作成されればコマシラバス)などが事前に学生に示され(あるいはホームページなどで公開されて)、授業で有効活用されているか	4	3	2	1	カリキュラム表。シラバス。
3	2	5	授業はシラバスに基づいて授業が展開されているか。また学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知を回しているか	4	3	2	1	カリキュラム表。シラバス。
3	2	6	教育課程(カリキュラム)は、事前に学生に開示されているか	4	3	2	1	カリキュラム表。シラバス。教育課程を公表しているHP。
3	2	7	[職業実践専門課程]修業年限は2年以上となっているか	4	3	2	1	カリキュラム表。シラバス。学生要覧。卒業証書。
3	2	8	[職業実践専門課程]総授業時数は1,700時間以上または総単位数が62単位以上となっているか	4	3	2	1	カリキュラム表。シラバス。学生要覧。卒業証書。
3	2	9	シラバス(作成されればコマシラバス)には到達目標が記載されているか(Can-Doを意識した到達目標の明示)	4	3	2	1	カリキュラム表。シラバス(コマシラバス)。ルーブリック評価表。

3	2	10	学習サービスの設計時に、予定しているモニタリング及び評価の手順を明確にしているか	④	3	2	1	カリキュラム表。シラバス(コマシラバス)。ルーブリック評価表。
3	2	11	実技・実習が講義と連動していたり、講師と学習者の比率をカリキュラム設計時に考慮するなど、効果的学習に配慮されているか	④	3	2	1	カリキュラム表。シラバス(コマシラバス)。ルーブリック評価表。
3	2	12	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか(教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か)	④	3	2	1	カリキュラム表。シラバス(コマシラバス)。ルーブリック評価表。
3	2	13	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	④	3	2	1	カリキュラム表。シラバス(コマシラバス)。ルーブリック評価表。
3	2	14	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか(学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか)	④	3	2	1	Google Homeでの授業アンケート、卒業時アンケート実施。
3	2	15	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	④	3	2	1	Google Homeでの授業アンケート、卒業時アンケート実施。
3	2	16	質保証を目的とした授業の評価にあたり、アセスメント結果(学修成果)のレビューを取り入れているか(アセスメント結果を、当初の目標と比較して評価しているか)	④	3	2	1	カリキュラム表。シラバス(コマシラバス)。ルーブリック評価表。
3	2	17	カリキュラムを設計又は見直す際に、過去に提供した類似の学習サービスに関する評価の結果を考慮しているか	④	3	2	1	カリキュラム表。シラバス(コマシラバス)。ルーブリック評価表。授業アンケート結果。
3	2	18	カリキュラム作成の際、複数のメンバーによるカリキュラム作成やカリキュラム作成委員会等の形で、作成したカリキュラムの検証が行われているか	④	3	2	1	教育課程編成委員会議事録。カリキュラム表。シラバス。ルーブリック評価表。
3	2	19	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	④	3	2	1	教育課程編成委員会議事録。カリキュラム表。シラバス。ルーブリック評価表。
3	2	20	カリキュラム設計及び開発の経験を有している、もしくは訓練を受けたファシリテーターなどが、カリキュラムの設計及び開発を担当しているか	4	3	2	1	教育課程編成委員会議事録。カリキュラム表。シラバス。ルーブリック評価表。
3	2	21	学習教材は、学習内容の実際の有用性を考慮した実践的かつ最新のものであり、社会的ニーズ、文化的ニーズ及び学習者の背景を考慮して選択されているか	④	3	2	1	教育課程編成委員会議事録。カリキュラム表。シラバス。ルーブリック評価表。
3	2	22	少なくとも年1回、カリキュラム、学習教材及びアセスメント教材の見直しを行っているか	④	3	2	1	教育課程編成委員会議事録。カリキュラム表。シラバス。ルーブリック評価表。

3	2	23	学内で使用又は開発した学習リソース(資源)の 出典及び著作権について、適正に処理できている か	4	3	2	1	教育課程編成委員会議事録。'カリキュラム表。シラ バス。ルーブリック評価表。
3	2	24	教員・講師及び学習者に対して、印刷教材・電子 教材の複写及び利用に関する規則について情報 提供しているか	4	3	2	1	授業目的公衆送信補償制度への加入
3	2	25	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリ キュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されて いるか	4	3	2	1	教育課程編成委員会議事録。'カリキュラム表。シラ バス。ルーブリック評価表。
3	2	26	関連分野における実践的な職業教育(産学連携 によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的 に位置づけられ、その内容、評価法などが事前 に決められているか	4	3	2	1	教育課程編成委員会議事録。'カリキュラム表。シラ バス。ルーブリック評価表。
3	2	27	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野 の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行って いるか	4	3	2	1	教育過程編成委員会議事録。カリキュラム表。シラ バス。ルーブリック評価表。
3	2	28	企業・施設等での職場実習(インターンシップ含 む)があるか	4	3	2	1	実習受託書、講義概要、企業実習報告書、連携実 務実習に係る実施計画・実施協定書。カリキュラム 表。シラバス。ルーブリック評価表。
3	2	29	企業・地域・行政との連携を図っているか	4	3	2	1	実習受託書、講義概要、企業実習報告書、連携実 務実習に係る実施計画・実施協定書。カリキュラム 表。シラバス。ルーブリック評価表。
3	2	30	他の高等教育機関との連携講座等を行っている か	4	3	2	1	高校からの講義依頼書(教育連携協定書)
3	2	31	県内の人材を活用して、授業等を行っているか	4	3	2	1	地場企業及び、職業能力開発協会からの派遣(実 習受託書及び、講義概要))
3	2	32	県内の企業、業界団体、自治体等と連携した授 業等を行っているか	4	3	2	1	地場企業及び、職業能力開発協会からの派遣(実 習受託書及び、講義概要))
3	2	33	学生が県や各市・町の自然、歴史、文化等に触 れることのできる授業等を行っているか	4	3	2	1	地場企業及び、職業能力開発協会からの派遣(実 習受託書及び、講義概要))
3	2	34	公共のマナーについて、教育・指導しているか	4	3	2	1	年間行事予定表。学生要覧。入学時のオリエン テーション資料。全校生徒に対して始業式・終業式 での指導。各クラスでのHR。
3	2	35	交通安全教育を行っているか(交通事故死者数 全国ワースト上位からの脱却を図るべく教育を 行っているか)※地域の特性を活かした教育の 例	4	3	2	1	年間行事予定表。自転車、バイク申請時に実施。 (申請書)
3	3	中 項 目	成績評価・単位認定等(成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか)					
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は 明確になっているか	4	3	2	1	事業計画書。カリキュラム表。シラバス。学生要覧。 (成績評価に関する規程、授業科目履修規程、進 級基準・卒業基準、判定会議議事録)
3	3	2	学生や保証人(保護者)に対し、成績評価・単位 認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提 示されているか	4	3	2	1	事業計画書。カリキュラム表。シラバス。学生要覧。 (成績評価に関する規程、授業科目履修規程、進 級基準・卒業基準、判定会議議事録)
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、 進級・卒業判定を行っているか	4	3	2	1	事業計画書。カリキュラム表。シラバス。学生要覧。(成績 評価に関する規程、授業科目履修規程、進級基準・卒業 基準、判定会議議事録)
3	3	4	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野 の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評 価を行っているか	4	3	2	1	事業計画書。カリキュラム表。シラバス。学生要覧。(成績 評価に関する規程、授業科目履修規程、進級基準・卒業 基準、判定会議議事録)



3	3	5	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④	3	2	1	カリキュラム表。シラバス。プレゼンテーション(発表会)。文化祭展示。卒業記念展。進級作品展。
3	3	6	アセスメントの結果は、公平性・透明性及び守秘義務の原則に鑑みて、確立された権限又は正当な承諾を得た者のみ閲覧可能とされているか(閲覧制限)	4	③	2	1	事業計画書。カリキュラム表。シラバス。学生要覧。(成績評価に関する規程。授業科目履修規程。進級基準・卒業基準。判定会議議事録)
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制(資格・免許取得のための指導体制があるか)					
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか(発行する修了証明書の種類及び内容)	④	3	2	1	目標資格・検定試験一覧。パンフレット。カリキュラム表。シラバス。成績証明書。
3	4	2	資格・免許取得のための指導体制はあるか	④	3	2	1	職務分掌。教員組織図。指導計画書カリキュラム表。シラバス。
3	4	3	カリキュラムや授業計画(シラバス)は文書化またはデータ化し、学生に配付しているか	4	③	2	1	カリキュラム表、シラバス。クラスに一部配布(科目によって配布している教科もある)
3	5	中項目	キャリア教育等(基礎的・汎用的能力(①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力)を身につけるための取組が実施されているか)					
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	④	3	2	1	職業実践専門過程連携企業との協定書。カリキュラム表。シラバス。就職指導及び、就職状況調査の実施。
3	5	2	卒業後の専攻分野におけるキャリア形成への適応性、効果を把握しているか。また、それを踏まえ教育活動等の改善を図っているか	④	3	2	1	企業アンケートの実施、及びフィードバック。適性検査実施。
3	5	4	キャリア教育等の実施にあたり、教育内容・方法を工夫しているか	④	3	2	1	カリキュラム表。シラバス。
3	5	5	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	④	3	2	1	高校からの依頼で、訪問授業の実施。
3	5	6	リメディアル教育を行っているか	4	③	2	1	年間行事予定表(補習期間を設置)
3	5	7	学習参加の前提としているスキルや要件などに不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか	4	③	2	1	カリキュラム表。シラバス。授業アンケート実施。

①	課題	<p>教育活動に関しては、これまで不備なく実施されてきた。これは先人たちの恩恵であり、今後も守るべきものは守っていかねばならない。</p> <p>学校の教育理念に基づき、毎年学科の育成像(テーマ)と、年間のカリキュラム時間数を見直し刷新し、全職員目標の設定はしている。</p> <p>しかし、昨今学生の資質、性質が大きく変化しているため、変化に対応できていない事が多い。その理由は、偏に情報不足と、教員の仕事が煩雑故に、学生個人と向き合う時間が限られている事がその大きな原因である。教育課程編成委員会からの提言を基に、気付かされることも多く、職員自体の資質向上を図る事も重要課題である。</p> <p>教育方法・評価方法、成績評価は、学校の教育理念をもとに、全体の評価方法が決められており、カリキュラム表と、シラバスは学生要覧にも明文化されており、全学生に浸透している。また、学内の教育理念だけでなく、学科単体で人材育成像をたてており、特色のある時間配分になっていると自負しているが、今後は中長期計画なども盛り込む必要がある。</p> <p>資格・免許取得の指導体制は、カリキュラム及び、特別対策を実施しているが、年々合格率が低減しており、受験科目及び、指導体制の見直しも必要である。</p> <p>キャリア教育は、専門学校では専門分野でのスキル向上を謳っており、以前から実施されているが、近年カリキュラムが複雑化、煩雑化しているため、今後はさらに的を絞った方向性も打ち出していかねばならない。</p>
②	今後の改善方策	<p>教育活動に関して、外部的要因である社会の変動と、学生の性質に関してできるだけ柔軟に対応しているが、先が読めず苦慮している。中でも、ファッション業界は動きが早くにも関わらず、業界全体の教育内容の見直しができている(全国の学校の悩みであり、問題点)今後は情報を広く収集し、多くの目で意見交換ができ、全体で再起を見通せるような組織にする事が最善だと考えている。もしくは、業界の常識にとらわれず、もっと独自性を持ってもいいのかもしれない。</p> <p>教育方法に付随する、学生指導に関しては、以前に比べ学生の質が大きく変わっているので、このままの指導方法が万全とは言えない。指導者の視点だけでなく、学生の視点に立ち戻って、何が必要なのか?(カリキュラム)伝え方はどうなのか?(資料やツール)という教育の原点に立ちもどる必要がある。指導方法に関しても、学生と教員が円満な関係になるよう、全体を通して情報が行き渡るように、問題点を浮き彫りにできるように学科内でのコミュニケーションを取る機会を増やし、学科、教員と学生のより深い信頼関係を構築していく。</p>

③	特記事項

4 学修成果・教育成果			適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	エビデンス
4	1	中項目 学修成果(各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか)		
4	1	1	④	3 2 1 学生要覧。HP。カリキュラム表。シラバス。修了試験成績一覧。期末試験成績実施。
4	1	2	④	3 2 1 学生要覧。HP。カリキュラム表。シラバス。
4	1	3	④	3 ② 1 HP。カリキュラム表。シラバス。
4	2	中項目 就職率(就職率の向上が図られているか)		
4	2	1	④	3 2 1 毎月就職状況調査を行い、個別の進捗状況を把握し、指導や支援に繋げている。
4	2	2	④	3 2 1 就職状況調査および就職カルテの提出。
4	2	3	④	3 2 1 就職状況調査および学校システムによるデータ記録を実施。
4	2	4	④	3 2 1 パンフレットおよびHP。
4	2	5	④	3 2 1 就職状況調査後、状況を全教員で共有。
4	3	中項目 資格・免許の取得率(資格・免許取得率の向上が図られているか)		
4	3	1	④	3 2 1 パンフレット(目標資格・検定一覧)。カリキュラム表。シラバス。
4	3	2	④	3 2 1 パンフレット(目標資格・検定一覧)。カリキュラム表。シラバス。
4	3	3	④	3 2 1 事業計画書。パンフレット(目標資格・検定一覧)。カリキュラム表。シラバス。職員会議議事録。
4	3	4	④	3 2 1 事業計画書。パンフレット(目標資格・検定一覧)。カリキュラム表。シラバス。職員会議議事録。
4	3	5	④	3 2 1 パンフレット。HP。
4	3	6	④	3 2 1 カリキュラム表。シラバス。学科毎の検討会議。
4	4	中項目 社会的評価(卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか)		
4	4	1	④	3 2 1 卒業生調査・企業アンケート(合同企業説明会)、企業等訪問記録、就職担当者訪問。来校時のヒアリング。
4	4	2	④	3 2 1 卒業生調査・企業アンケート(合同企業説明会)、企業等訪問記録、就職担当者訪問。来校時のヒアリング。5年間追跡を実施。
4	4	3	④	3 2 1 卒業生調査・企業アンケート(合同企業説明会)、企業等訪問記録、就職担当者訪問。来校時のヒアリング。6年間追跡を実施。

①	課題	<p>学修成果は学科で成果は違えども、概ねできていると実感している（各種コンテストでの受賞）。一方で、制作に対してフラストレーションを感じる学生も出ており、メンタル面での強化も必要になっている。</p> <p>就職率は、事業計画に目標数を打ち出しており、概ね達成できているが、その一方で社会的背景も影響し、非就職者を希望する学生も増えており、また、早期離職の問題もあり、その対策と対応に苦慮している。また、卒業後の学生の調査に関しても、数年後には追えない場合が増えてきていることから、対応に苦慮している。</p> <p>また、資格（検定）は全国の合格率より上回っているが、それでも十分な結果ではない。検定対策は各科必須の検定を設けており、そのためにカリキュラムで対策を実施しているが、その効果は必ずしも十分ではない。</p> <p>社会的評価は、就職関連企業にアンケートを実施し、その動向を把握しているが、学校の進化・発展を視野に入れ、さらに有益なアンケートも実施する必要も目指さねばならない。</p>
②	今後の改善方策	<p>学修成果に関しては、学生の資質や特性によって左右するものであるため、全てが順風ではないが、在学中にどんな事でも果敢にチャレンジすることが成長につながるものだという姿勢を持つ必要があるなど、折に触れ常に指導し続ける。</p> <p>学科毎にファッション業界向けの検定に特化した取得を目指しているが、覚えるだけのようない過性の成果でなく、理解し経験を通して身をもって覚えるなど、スモールステップでの体験を考慮しての検定に望めるなどの対策も、次年度は提案していく。</p> <p>就職に関しては、働くという意識を育成するように、社会性を享受し、同時に企業研究をMRなどにも導入し、広く企業を知る手立てを構築していく。同時に積極的にインターシップに参加できるよう学内も整備していく。卒業生の追跡は、同窓会の意義を有効に使うことを念頭に置き、連携しながら情報収集できる体制を整えていく。</p>
③	特記事項	

5 学生支援			適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	エビデンス
5	1	中項目 修学支援(学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか)		
5	1	1	4	学籍簿。個人面談。就学支援に関する各種就学支援一覧。
5	2	中項目 就職等進路(就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか)		
5	2	1	4	オリエンテーション、保護者向け説明会を実施。
5	2	2	4	常勤でキャリアコンサルタント技能士2級資格保有者1名(登録番号:16141957)在籍。
5	2	3	4	毎月就職状況調査後、情報共有と支援方法について意見交換を実施。
5	2	4	4	就職状況調査。就職先一覧、学校関係者評価委員会議事録
5	2	5	4	就職担当(組織図)、校務分掌表(卒業クラス担任)
5	2	6	4	1年時よりキャリアガイダンスで企業人講話やOBOG講話を実施。
5	2	7	4	県内企業訪問等で求人の開拓を実施。
5	2	8	4	学内掲示およびPC閲覧、求人票綴りにより公開。
5	2	9	4	合同企業説明会、単独企業説明会、WEB説明会を学内で実施し、学生へ参加勧奨を行っている。

5	2	10	履歴書の書き方、面接の受け方などの講座を設けているか、または指導しているか	④	3	2	1	ビジネスマナーおよびキャリアガイダンス、個別指導にて実施。
5	3	中項目	学生相談(学生相談に関する体制は整備されているか)					
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)	④	3	2	1	学生要覧。クラス担任(組織図、校務分掌表)
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	④	3	2	1	学生指導履歴。(クラス担任保管)
5	3	3	入学時または定期的に、担任等が学生に対し個別面談・ヒアリングを行っているか	④	3	2	1	学生指導履歴。(クラス担任保管)
5	3	4	いじめや孤立を早期に発見する体制があるか	4	③	2	1	クラス担任制度により、相談できる体制と、外部カウンセラーへの相談。面談履歴。
5	3	5	いじめ等を発見した場合、それを解決するための体制・仕組みがあるか	4	③	2	1	主任会議での報告と対策。クラス担任制度により、相談できる体制と、外部カウンセラーへの相談。面談履歴。
5	3	6	留学生に対する相談体制を整備しているか	④	3	2	1	留学生担当を置き、オリエンテーションや生活相談を実施。
5	4	中項目	学生生活(学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか)					
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	パンフレット(募集要項)。各種就学支援一覧。
5	4	2	公的支援制度の利用について、学生・保証人(保護者)に案内、情報提供しているか	④	3	2	1	パンフレット(募集要項)。各種就学支援一覧。
5	4	3	学費の減免、特待生制度、学校独自の奨学金制度等はあるか	④	3	2	1	パンフレット(募集要項)。各種就学支援一覧。
5	4	4	給付型奨学金や授業料等減免など、学校独自に学生への経済的支援を行っているか	④	3	2	1	パンフレット(募集要項)。各種就学支援一覧。
5	4	5	学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか)	④	3	2	1	年間行事予定表。健康診断の実施。専門医との連携。
5	4	6	有所見者の再健診について適切に対応しているか	④	3	2	1	再健康診断の案内。専門医との連携。
5	4	7	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1	学友会(総務会・活動記録)。その他希望があれば実施しているが、現在は放課後の補習に充てている。
5	4	8	学生の生活環境への支援は行われているか(学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか)	④	3	2	1	パンフレット(募集要項)。学生寮完備。不動産会社との提携。
5	4	9	遠隔地からの学生のための寮を整備しているか、またはアパート・マンションの紹介等をしているか	④	3	2	1	パンフレット(募集要項)。学生寮完備。不動産会社との提携。
5	4	10	子育てや女性の就業支援のための体制・教育を整えているか	④	3	2	1	パンフレット(募集要項)。各種就学支援一覧。
5	4	11	学習に関する要望、学習に関する要望を取り巻く状況及び通学の障害となる要因(距離や費用等)を理解し、解決に向けた提案を行っているか	④	3	2	1	パンフレット(募集要項)。各種就学支援一覧。学校説明会及び、オープンキャンパスでの案内。
5	5	中項目	中途退学への対応(退学率の低減が図られているか)					
5	5	1	退学率の低減が図られているか(受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか)	4	③	2	1	休学、退学の理由書。
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	④	3	2	1	事業計画書。
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	④	3	2	1	事業計画書。主任会議議事録。
5	5	4	退学者数を公表しているか	4	3	2	①	職業実践専門課程別紙様式4
5	5	5	中途退学者数、中途退学の原因・傾向等を把握しているか	④	3	2	1	個別面談の報告書。休学、退学の理由書。

5	5	6	中途退学防止のための対策を講じているか	④	3	2	1	個別面談の報告書。休学、退学の理由書。
5	6	中項目	保証人(保護者)との連携(保証人との連携体制を構築しているか)					
5	6	1	保証人(保護者)と適切に連携しているか(保証人のニーズを把握しているか)	④	3	2	1	定期的に成績書、年間スケジュールの送付。保護者面談記録。
5	6	2	保証人(保護者)との計画的な相談会・面談を行っているか	④	3	2	1	保護者会の実施(年間行事予定表)。定期的に成績書、年間スケジュールの送付。保護者面談記録。
5	6	3	緊急時の保証人(保護者)等との連絡体制を確保しているか	④	3	2	1	保護者会の実施(年間行事予定表)。定期的に成績書、年間スケジュールの送付。保護者面談記録。
5	6	4	成績・素行不良の場合には、保護者等に連絡を取り、あるいは面談しているか	④	3	2	1	緊急連絡先の把握と、三者面談の実施。
5	6	5	保護者会の開催等、保護者等とのコミュニケーションを図るとともに、学校の教育活動情報を伝えているか	④	3	2	1	定期的に成績書、年間スケジュールの送付。
5	7	中項目	卒業生・社会人支援(卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか)					
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか(再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか)	④	3	2	1	同窓会会則。就職相談窓口。
5	7	2	学校情報を卒業生に知らせているか(HP・学校便り等)	④	3	2	1	同窓会会則。就職相談窓口。HP。SNS。
5	7	3	学校は同窓会との連携を図っているか	④	3	2	1	同窓会会則。
5	7	4	卒業生への卒業後教育等の支援体制はあるか(卒業生への講習・研修を行っているか)	④	3	2	1	HPで講習会の案内。
5	7	5	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1	ソーイングコース併設。リカレント教育の実施。
5	7	6	大学等卒業者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則・細則に規定し、適切に認定しているか	④	3	2	1	パンフレット(募集要項)。学校説明会及び、オープンキャンパスでの案内。
5	7	7	教育訓練給付金対象の講座指定を受け、社会人入学生の学費軽減に努めているか	④	3	2	1	パンフレット(募集要項)。学校説明会及び、オープンキャンパスでの案内。

① 課題								
<p>修学支援に関しては潤沢に用意し、対応できている。</p> <p>就職等進路に関して、主に就職指導は卒業クラス担任に委ねてあるが、概ね100名の卒業生に対して就職担当者が1名であり、その個別指導の許容範囲を超えている。</p> <p>学生相談は、クラス担任、学科主任、校長はじめ各役職を含め、全員で向き合っているが、特殊な例が発生した場合、外部カウンセラーの手を借りて対応しているが、それぞれ特殊な例が多く散見され、その対応に苦慮している。</p> <p>中途退学への対応だが、カリキュラムの見直しや、個人面談を増やすなど全職員で、全力で向き合っているが、学生個人の外部的要因(環境)と、内部的要因(メンタル)全てに対応する事ができず、退学を申し出るケースは減らない。また、退学者の公開に関して、所定の情報は公開しているが、限定的なものは公開したくないので、状況に応じて整備していかねばならない。</p> <p>保護者と学校の関係は、定期的に送付する行事案内と成績表で賄っているが、それ以外はクラス担任がうまく関係を構築してくれているが、クラス担任に頼りきりな事が気掛かりである。</p> <p>卒業生・社会人支援に関しては、本学同窓会とうまく運動しているが、総会等で若年層の参加がうまくいかず、苦慮している。また、主婦や社会人を対象にしたソーイングコースというリカレント教育を行なっているが、週一度のコースであり、また認定証などがない為に、今後は整備が必要だと思われる。本校卒業生には学内の施設・設備を卒業生に貸し出したりすることで、支援を行っているが、それ以上の積極的な支援まではしていないのが現状。大学等の卒業者の入学前履修へのニーズをつかめていなかったのが現在の現状である。</p>								

②	今後の改善方策	<p>就職の対策だが、一人ひとりへの対応が大事であるが、就職への捉え方を抜本的に考え直す時期が見えてきていると感じている。今後は起業や、大学進学や留学なども視野に入れる事も視野に入れ、全職員と方向性を整備していく。</p> <p>中途退学は、現在正直なところ、策が見当たらないのが現実である。しかし、折角の縁で本校で学んでいるので、これからも親身かつ誠実に学生と向き合い、続けるように指導していく事が最善の手だと思わざるを得ないが、職員の負担も増えるので、負担軽減の策を考えねばならない。入学前の履修に関する取扱いについては、入学前にどんなスキルが必要かを各科目でリサーチし、学ぶための心構えや基本情報、特に今後必要とされるDXなどの習得情報提供があると良いのではと思われるので、入学前のアンケート実施などの整備を行う。</p> <p>保護者との関係は、学校の様々な行事への紹介だけに留まらず、成果発表会（授業参観）を実施するなど、教育に理解を求める取り組みをし、学内での理解を深めてもらい、協力していただける環境づくりを構築する。</p> <p>同窓会は、現行を維持しつつ、近年の卒業生も参加しやすい同窓会も企画するなどの取り組みを構築していく。</p>
③	特記事項	

6 教育環境		適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	エビデンス				
6	1	中項目	施設・設備等(施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか)				
6	1	1	④	3	2	1	学校設置認可申請書、教室配置図、時間割(年度毎に校内見取り図の作成)
6	1	2	④	3	2	1	校内見取り図(資料室)
6	1	3	④	3	2	1	施設案内図。備品台帳
6	1	4	④	3	2	1	貸出申請書(外部施設確認チェック表)
6	1	5	④	3	2	1	貸出申請書(外部施設確認チェック表)
6	1	6	④	3	2	1	クラスHRで指導。掲示物。学生要覧。
6	1	7	④	3	2	1	掃除区域チェック表。朝と放課後に学生と職員での学内掃除の実施。
6	1	8	④	3	2	1	定期的な営繕管理を実施。(施設・設備の点検、補修計画書、点検・修繕の記録、電気設備点検記録報告書、電気設備定期点検報告書、建築物環境衛生管理報告書)
6	2	中項目	学外実習、インターンシップ等(校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備しているか)				
6	2	1	④	3	2	1	事業計画書。就職指導。協定書。
6	2	2	④	3	2	1	日常的にクラスでの指導。学科でのインターンシップ協定書。
6	2	3	④	3	2	1	カリキュラム表。シラバス。
6	2	4	④	3	2	1	カリキュラム表。シラバス。
6	2	5	④	③	2	1	カリキュラム表。シラバス。インターンシップ協定書。

6	3	中項目	防災・安全管理(防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか)					
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	④	3	2	1	危機管理マニュアル、気象警報による休講等の取扱いガイドライン
6	3	2	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか	④	3	2	1	年間案行事予定表。消防用設備点検報告書、警備業務請負契約書
6	3	3	防災計画や消防計画を所轄の消防署に届出ているか、また必要に応じそれらの計画を変更しているか	④	3	2	1	年間行事予定表。防災計画、消防計画、消火・避難訓練通知書、建築物維持管理報告書
6	3	4	施設・設備の耐震化を図っているか	4	3	②	1	施設改修計画、改修工事記録、耐震性検査記録
6	3	5	定期的に防災訓練を実施しているか	④	3	2	1	年間案行事予定表。防災訓練実施要項、防災訓練実施報告書
6	3	6	学校独自で教職員・学生に対し防災研修・教育を行っているか	④	3	2	1	年間案行事予定表。消防訓練実施要綱、年間行事予定表
6	3	7	県シェイクアウト(県民いっせい地震防災行動訓練)や各市・町が行う防災訓練等に参加しているか	④	3	2	1	年間案行事予定表。避難訓練企画書、防災訓練開催チラシ。
6	3	8	学校における安全管理の整備を行っているか	4	③	2	1	設備管理者の一覧表、各種設備の定期点検票、危機管理マニュアル

①	課題	教育環境に関して、十分整備されていると自負しているが、その反面、卒業時の学校満足度調査の結果、「ミシンが古い」「机と椅子が古い」「照明が暗い」という意見が特に散見される。学修意欲向上のため、古い設備の入れ替えは急務だと考えられる。 学外実習・インターンシップは積極的に実施しているが、回数が増える事で日常の授業に影響を及ぼす事もあるので、その都度慎重かつ柔軟に対応しているのが現実である。また、実施及び実働の判断に関して、学科での温度差があることが気掛かりである。 防火・安全管理だが、まだ危機管理マニュアルが成績に完備されていなかったが、25年に向け、現在準備中である。
②	今後の改善方策	施設環境の改善策として、計画をたて古くなった設備を順次入れ替えることを視野に入れ、年度毎に予算を計上する事が最善である。学外研修は、カリキュラムと年間スケジュールと見合わせながら、実施回数を義務化する、また、効果的な内容を企画するなど、学生が有益に感じられるよう整備を行う。 防火・安全管理は、危機管理マニュアルを作成中であるが、基本として法に則って整備を行い、年度毎問題点を洗い出し、アップデートし続ける努力を続ける。
③	特記事項	

7 学生の受入れ募集			適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	エビデンス
7	1	中項目	学生募集活動(学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか)	
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1 事業計画書。パンフレット(募集要項)。会場説明会(行事予定表)。営業日報。パンフレット、OC用説明資料、募集要項、学校案内、HP。
7	1	2	入学受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)を策定し、学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表しているか	④ 3 2 1 事業計画書。パンフレット(募集要項)。アドミッションポリシー、パンフレット、公式Webサイト
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	④ 3 2 1 パンフレット(募集要項)。HP。学校説明会。OC説明資料。各業者メディアページ。リーフレット。SNS
7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	④ 3 2 1 事業計画書。パンフレット(募集要項)、HP、学校説明会、奨学生試験面接要領。SNS

7	1	5	高等学校等直結する教育機関に対し、教育活動等の情報提供を行っているか	④	3	2	1	事業計画書。パンフレット(募集要項)。HP。団体の受け入れ。
7	1	6	学校運営責任者の情報や、教員・講師の適格性・経験などの情報を提供しているか	④	3	2	1	パンフレット。HP。学校説明会。
7	1	7	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができていますか	④	3	2	1	事業計画書。パンフレット(募集要項)。校務分掌、HP、組織図。公式Instagram。
7	1	8	学校説明会等による情報提供(育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報)を行っているか	④	3	2	1	オープンキャンパス配布資料、説明用資料、HP、募集要項。SNS
7	1	9	入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか	4	3	2	①	実施していない。
7	1	10	体験入学・オープンキャンパス等を実施し、多くの人に教育内容・施設設備等の紹介をしているか	④	3	2	1	パンフレット。HP。学校説明会。体験入学での資料。団体の受け入れ。体験入学案内書。
7	1	11	学習者の満足度に関するフィードバックを入手する手順、並びに彼らの要求、提案及び苦情に対応する手順など、学校生活での支援体制について入学前に伝えているか	④	3	2	1	パンフレット。HP。学校説明会。体験入学での資料。団体の受け入れ。体験入学案内書。アンケート実施。
7	1	12	教授資格、教歴及び背景など、授業や実習を担当する教員・講師のプロフィールについて、オープンキャンパスなどで紹介しているか	④	3	2	1	パンフレット。HP。学校説明会。体験入学での資料。団体の受け入れ。体験入学案内書。
7	1	13	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4	3	②	1	パンフレット。HP。学校説明会。体験入学での資料。団体の受け入れ。体験入学案内書。
7	1	14	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、オリエンテーションなどで学校側の義務と責任を学生と保証人(保護者)に案内しているか	④	3	2	1	オリエンテーション。全学生個人肖像権の確認。保護者会資料。
7	2	中項目	入学選考(入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか)					
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか(入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか)	④	3	2	1	パンフレット(募集要項)。HP。学校説明会。OC説明資料。各業者メディアページ。
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学選考を行っているか	④	3	2	1	書類選考、必要に応じて面接を実施。
7	2	3	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	④	3	2	1	パンフレット(募集要項)。入学者等のデータ表、推移表。プロフィールシート。
7	2	4	社会人の「学び直し」に対応し、社会人を積極的に受入れているか	④	3	2	1	事業計画書。パンフレット(募集要項)。
7	2	5	履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか	④	3	2	1	事業計画書。パンフレット(募集要項)。入学願書一式。
7	3	中項目	学納金(学納金は妥当なものとなっているか)					
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1	学園理事会議事録。事業計画書。パンフレット(募集要項)。
7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	④	3	2	1	学園理事会議事録。事業計画書。パンフレット(募集要項)。
7	3	3	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	④	3	2	1	学園理事会議事録。事業計画書。パンフレット(募集要項)。
7	3	4	入学辞退者への授業料返還について、文部科学省通知(18文科高第536号)に基づいて適切に対応しているか	④	3	2	1	事業計画書。パンフレット(募集要項)。
7	3	5	教育訓練給付制度(一般教育訓練給付・専門実践教育訓練給付)を利用できるよう取組んでいるか	④	3	2	1	事業計画書。パンフレット(募集要項)。
7	3	6	学習者又はスポンサーから要請があった場合には、支払の証明を提供しているか	④	3	2	1	事業計画書。パンフレット(募集要項)。



①	課題	<p>学生の受け入れ募集は、スケジュールと予算を決め、概ね戦略的に行われている。本校の最大のメリットは、歴史の長い伝統校という信頼と、立地、そして確かな実績である。主な広報物にパンフレット、HPを利用しているが、しかし、広報担当の人員不足もあり、前年度のデータ分析や、次年度への展望は企画できず、その結果、広報全体のビジュアルの提案、戦略等の明確な指示は無く、例年に従ってのルーティンが行われているのが現状であるため、故に全てが潤沢に行われているかといえばそうではない。しかし、これまで培ってきた経験をもとに、現在は問題なく適宜対応できている。募集人数と、学科編成も時代に沿い適宜見直すべきだが、明確な策が見当たらないため、現在は実施に至っていない。</p> <p>入学選考は、募集要項に明文化しており、その基準に応じて選考している。しかし、基本的に書類上での選考である為、試験を実施していないので、基礎学力に満たしているかを知る手立てを有しているわけではない。今後は、書類審査と資質を図る基準も整備する必要がある。</p> <p>学納金は、極力家庭の負担を軽減できるような価格に設定しているが、若者減少を視野に入れた場合、学納金の見直しの必要も十分にある。</p>
②	今後の改善方策	<p>募集の戦略は、事業計画に細かく指針を示しているが、人手不足の為実施できていないケースも散見される。ファッションという感性を教授する専門学校であれば、人手不足故に兼務だけでなく、広報専任者として責任を与え、データ分析及び、イメージ戦略に至るまで、戦略的かつ効果的に実施できる人事配置が得策だと考えられる。</p> <p>学科編成と、募集人数、学納金に関しては、これからの時代必要とされるスキルと人材を研究せねばならない。しかし、これは学校運営に関わることから、学園法人本部と相談する必要がある。</p> <p>入学予定者に対し学習指導・支援に関しては、合格証発行時点で、これからの学びに関して明文化しているが、それ以上実施には至っていない。今後は、個人の学習差が顕著になる事も鑑みて、学びの基本姿勢を極力平均化できるよう実施することも視野に入れている。</p>
③	特記事項	

8 教育の内部質保証システム			適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				エビデンス
8	1	中項目 関係法令、設置基準等の遵守(法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか)					
8	1	1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1	法令遵守の研修報告書、教務日誌、
8	1	2 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1	組織図、校務分掌表、内部規定類
8	1	3 関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	④	3	2	1	ハラスメント防止規程、危機管理規程、ルールブック
8	1	4 所轄官庁に対し、申請・届出等を遅滞なく行っているか	④	3	2	1	申請・届出書類一覧、校務分掌表。学則、就業規則・諸規定
8	1	5 セクシュアルハラスメント、アカデミックハラスメント等の防止について、規定を文書化し、対策を立て実行しているか	④	3	2	1	事業計画書
8	2	中項目 個人情報保護(個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか)					
8	2	1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	④	3	2	1	事業計画書、個人情報保護規程、プライバシーポリシー、セキュリティポリシー等
8	2	2 個人情報保護規程が文書化されているか	④	3	2	①	事業計画書には明文化されているが、正式なものでは整備されていない。
8	2	3 個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができているか	④	3	2	1	事業計画書。メディア、ハードの持ち出し禁止と施錠。
8	2	4 リムーバブルメディア、ウェブサイト等からの情報漏洩防止策を講じているか	④	3	2	1	事業計画書。メディア、ハードの持ち出し禁止と施錠。

8	3	中項目	学校評価(自己評価、学校関係者評価+教育課程編成委員会の実施体制を整備しているか)						
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	4	3	2	1		自己点検の実施。学校評価及び教育課程編成委員会の評価・改善書。
8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか(自己点検・評価報告書があるか)	4	3	2	1		自己点検の実施。学校評価及び教育課程編成委員会の評価・改善書。
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	4	3	2	1	2	自己点検の実施。学校評価及び教育課程編成委員会の評価・改善書。
8	3	4	実施のための組織体制を整備し、定期的に取り組んでいるか	4	3	2	1	3	定期的に授業を参観し、実務で把握している。職員会議、主任会議での改善の打診。
8	3	5	学校評価の目的(何のために学校評価をするか)が、全ての教職員に浸透していたか	4	3	2	1		職員会議、主任会議での打診。
8	3	6	学校評価を積極的に実施できたか(受動的になったり、義務感でやっていなかったか)	4	3	2	1		職員会議、主任会議での打診。自己点検の実施
8	3	7	評価に向けての体制を構築し、担当責任者・担当者を明確に決められたか	4	3	2	1	3	校務分掌表。職員会議、主任会議での打診。自己点検の実施
8	3	8	評価の範囲、目標、根拠、基準、方法及びスケジュールを含む、モニタリング及び評価の手段などを考慮し、モニタリング及び評価のプロセスを設計しているか	4	3	2	1	3	職員会議、主任会議での打診。自己点検の実施
8	3	9	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	4	3	2	1		職員会議、主任会議での打診。自己点検の実施
8	3	10	学校関係者評価を適正に実施運用するためのルールが明文化されているか	4	3	2	1	3	学校関係者評価委員会規程
8	3	11	学校関係者評価を実施するための組織体制を整備しているか	4	3	2	1		学校関係者評価委員会規程
8	3	12	学校関係者評価を実施するために、設置課程・学科の関連業界等から委員を選出しているか	4	3	2	1		学校関係者評価委員会名簿
8	3	13	学校関係者評価結果を報告書にまとめているか	4	3	2	1	3	学校関係者評価委員会アンケート集計
8	3	14	学校評価の準備から実施、また公表に至るまで、教職員が協力して行えたか	4	3	2	1		学校関係者評価委員会議事録
8	3	15	評価結果を踏まえ、改善に向けての仕組み・流れを構築し、それをみんなで共有できたか	4	3	2	1	3	学校関係者評価委員会議事録後、速やかに学科で改善策を検討。
8	4	中項目	改革・改善(各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか)						
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	4	3	2	1		事業計画書。職員会議議事録。
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1		事業計画書。職員会議議事録。
8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	4	3	2	1		教育課程編成委員会及び、学校評価委員からの提言を受けての、事業計画書作成。
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	4	3	2	1		事業計画書。校務分掌表。
8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	4	3	2	1		事業計画書。
8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	4	3	2	1		事業計画書。
8	4	7	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか(モニタリング及び評価の結果を考慮して、学習サービスの改善・変更を実施しているか)	4	3	2	1		事業計画書。評価項目一覧表。
8	4	8	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	4	3	2	1	3	事業計画書。組織図。

8	4	9	学生及び保護者等が不満を抱いている場合や、学校側と意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4	3	2	1	事業計画。学生要覧。HP。
8	4	10	業界や地域社会等からの意見の収集・分析・応答の仕組みができていないか(苦情及び要請への対応を含む)	4	3	2	1	事業計画。学生要覧。HP。
8	5	中項目	教育情報の公開(教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか)					
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1	職業実践専門課程別紙様式4、HP
8	5	2	学校概要、教育内容、教職員の情報等を積極的に公開しているか	4	3	2	1	HP。SNS。
8	5	3	[職業実践専門課程]認定学科の基本情報は、学校のホームページで公開するとともに、最新の情報に更新しているか	4	3	2	1	職業実践専門課程別紙様式4、HP
8	5	4	自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1	HP。
8	5	5	学校関係者評価結果を公表しているか	4	3	2	1	事業計画書を作成するエビデンスとして使用している。

①	課題		<p>教育の内部質保証は、法令と各種基準に沿い、適正に運営している。しかし、個人情報保護に関して、事業計画の項目には明文化されているが、正式にマニュアル化されておらず、例外の案件が発生した場合、適宜対応しているため、今後は整備が必要である。</p> <p>学校評価は、外部の評価は実施しておらず、あくまでも職業実践専門課程の設置要件である「学校評価委員会」を学校評価として位置付けている。</p> <p>故に、学校評価に関するチェック項目は、事業計画の達成と、成果に基づいたものである。しかし、今後は第三者評価実施も視野に入る必要がある。</p> <p>改革・改善は、職業実践専門課程の設置基準である、学校評価委員会、カリキュラム編成委員会からの提言をもとに、今後の指針を校長が改革と、改善を各主任に落とし込んでいる。その結果、学科への伝え方、理解度によって温度差が出ていることが気掛かりである。</p>
②	今後の改善方策		<p>個人情報保護のマニュアル化の整備の実施。</p> <p>学校評価は、マンネリ化、また利己的な判断にならぬように、全職員で取り組めるよう整備する。</p>
③	特記事項		

9 財務			適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	エビデンス				
9	1	中項目	財務基盤(学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか)					
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	4	3	2	1	財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、消費収支計算書、事業報告書
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されているか	4	3	2	1	全体予算書、中期計画書
9	1	3	学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4	3	2	1	財務分析結果
9	2	中項目	予算・収支計画(予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか)					
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1	予算書、理事会議事録、評議員会議事録
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	4	3	2	1	収支計画書、予算執行表、月次予算チェック表

9	2	3	出願者数、入学者数及び定員充足率の推移を把握しているか	④	3	2	1	学籍管理記録、理事会報告資料、広報資料(出願者数一覧等)
9	2	4	収入と支出のバランスが取れているか	④	3	2	1	財務諸表、月次決算資料
9	2	5	設備投資が過大になっていたり、負債が返還可能な範囲を超えていたりしていないか	④	3	2	1	中期決算報告資料、貸借対照表
9	3	中項目	監査(財務について会計監査が適正におこなわれているか)					
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	④	3	2	1	会計監査報告書
9	3	2	会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか	④	3	2	1	会計監査規程
9	3	3	会計監査(月次決算書等)の結果報告が文書等にて明確化されているか	④	3	2	1	会計監査報告書
9	4	中項目	財務情報の公開(私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか)					
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	④	3	2	1	財務諸表、HP、財務書類等閲覧規程
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいるか	④	3	2	1	HP

①	課題							
	財務は学校法人学園本部管轄であり、法令に則って遂行されている。予算に関しては、次年度に計画している事業(授業)に関わる稟議書に基づき経費を算出し、学園本部に計上している。							
②	今後の改善方策							
	予算に関して、次年度の必要経費に優先順位を決めているが、場合によっては事業に関して詳しく説明する機会を設けてもらう。							
③	特記事項							

10 社会貢献・地域貢献				適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1			エビデンス	
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献(学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか)					
10	1	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1	年間行事予定表、利用案内、利用の記録
10	1	2	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1	職業開発協会の検定会場。
10	1	3	地域、関連業界、同窓会等が研修会・研究会等を開催する際、学校施設・設備等を開放しているか	④	3	2	1	学校施設・設備管理規程、教室貸出マニュアル
10	1	4	県専各連合会の若年者職業意識涵養事業(県の委託事業)に積極的に参加しているか	④	3	2	1	イベント配布資料、校務分掌表、年間計画表
10	1	5	高校生・中学生に対し、キャリア教育・職業教育や進路に関する指導・助言を行い、職業意識の涵養・高揚に努めていますか(前出の県専各連合会主催事業以外のもの)いるか	④	3	2	1	イベント配布資料、校務分掌表、年間計画表

10	2	中項目	ボランティア活動(学生のボランティア活動を奨励・支援しているか)					
10	2	1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4	3	2	1	ボランティア活動支援体制に関する資料
10	2	2	目標・計画に基づく社会的活動(地域活動・地域貢献・ボランティア活動等)を実施しているか	4	3	2	1	年間行事予定表、年間行事実績表、行事実施報告書
10	2	3	教職員は率先して近隣道路の清掃を行うなど、学生の模範となる行動をしているか	4	3	2	1	年間行事予定表、年間行事実績表、行事実施報告書
10	2	4	学生が地域や地域住民の開催する行事・イベント等へ参加することを奨励しているか	4	3	2	1	年間行事予定表、年間行事実績表、行事実施報告書
10	2	5	地域の企業、業界団体、自治体等と連携した事業等(分野により研究・開発)を行っているか	4	3	2	1	各種案内及び依頼文、校務分掌表

① 課題		
<p>社会貢献・地域貢献は、積極的に実施している。しかし、すべてに対応していると職員の負担にもなり、場合によっては就業規則(労働基準)に抵触してしまうケースもある。広報活動として学生作品の露出と学校知名度の露出も必要だが、オーバーワークにならぬよう優先順位を決め対応していく必要がある。</p> <p>ボランティア活動という取り組みではないが、職員と学生は学校近隣の掃除を実施している。それ以外は、インクルーシブ教育に取り組んでいるが、それはボランティア活動として捉えておらず、デザイナーとしての資質向上を謳っている。</p>		
② 今後の改善方策		
<p>今後は明確に社会貢献を、校外にも広く理解をしてもらう必要があるので、HPなどで明文化し、取り組みを発信していく。ボランティアに関しては、学校内で定義を明確にし、職員、学生の活動を無理のない範囲で応援できるよう整備していく。</p>		
③ 特記事項		

11 国際交流(必要に応じて)			適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	エビデンス
11	1	中項目	留学生の受入れ・海外への留学(留学生の受け入れ、海外への留学における学習支援や生活指導等を適切に対応し、管理体制を整備しているか)	
11	1	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 3 2 1 事業計画書。
11	1	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 3 2 1 入管提出書類一式、学籍、管理体制組織図、旅行傷害保険、リスク回避マニュアル、適正校(クラスI)を福岡出入国管理局留学・研修審査部門より選定
11	1	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 3 2 1 留學生活の手引き、組織図
11	1	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 3 2 1 留學生活の手引き、成績証明書(外国語併記様式)、HP、JLPT取得率、資格試験取得率、就職率、進学率
11	1	5	国際交流に取り組んでいるか	4 3 2 1 海外のとの教育交流に関する協定等
11	1	6	海外留学プログラムに対する支援を適切に行っているか	4 3 2 1 説明会資料、連携に関する資料、海外のとの教育交流に関する協定等、エージェント契約書

①	課題
	<p>国際交流に関して、数年前まではグローバル化に必要性を感じていたが、現在は以前に比べ積極的に留学生の受け入れはしていない。（しかし、例年通り窓口は開けている）。現在の国内情勢や業界の動向を鑑みて、現在は国内の学生の働く環境づくりを優先的に行っている。</p> <p>しかし、ファッションは洋装文化であるため、ドメスティックな視点だけでは成長ができない、世界のトレンドは積極的に知るべきであるので、海外研修旅行を企画して実施している。</p>
②	今後の改善方策
	<p>学生の育成という視点では、優先順位として国内の人材育成だが、いつまでもドメスティックな視点では。グローバルには程遠い教育機関になってしまう恐れがある。積極的に海外との機関と連携が図れる取り組みを構築し、同時に、教員の指導に関する言語教育も行う必要がある。</p>
③	特記事項